

2016 熊日「新聞コンクール」

親子新聞の部

作品募集

親子・家族で話し合い、家庭のニュースや話題、社会の出来事、将来の夢などを盛り込んで、自由に編集してください。



募集要項

応募資格 熊本県内在住の小学生、中学生およびその親子・家族
応募は学校単位、個人応募とも受け付ける

部門 ▽手書き部門 小学校低学年の部（1～3年）
小学校高学年の部（4～6年）中学校の部
▽パソコン部門（小・中学生がいる家族）
※部門を出品票に明記すること

応募規定 **サイズ**：A3用紙1ページ（サイズ厳守）。紙質に制限は設けませんが、厚紙は不可。熊日販売店に無料の用紙が置いてありますので、お問い合わせください。

内容：学校の先生や友達などに向け、親子・家族で話し合い、家庭内のニュースや話題、社会の出来事、将来の夢などを盛り込み、自由に編集したもの。

体裁：タイトル（題字）を入れる。用紙の縦横、記事や見出しの縦書き横書きは自由。イラスト、写真なども自由に使い、貼り付けてもよい。広告欄（ただし内容は架空のものに限る）を設けてもよい。また、白黒、カラーのいずれでもよい。

作成：親子・家族で話し合い、手書き部門は小・中学生が作成する。パソコン部門はA3用紙に印刷したもの（データ応募は認めません）。

その他：所定の出品票または白紙に、住所・氏名（児童・生徒）

電話番号・学校名・学年及び保護者名を記入し、作品の右下に貼付する。作品は未発表のものに限り、返却しない。出品票は熊本日日新聞社事業局、支社、総支局、販売店で配布します。入賞作品はポスター、チラシ、作品集などの印刷物に使用することがあります。

締め切り 平成28年9月20日（火）熊日事業局に必着
応募先 〒860-8506、熊本市中央区世安町172、熊本日日新聞社事業局、2016熊日「新聞コンクール」親子新聞の部係
☎096 (361) 3383

熊本日日新聞社の支社、総支局（南関・芦北・牛深・山都・宇土・合志を除く）、販売店でも受け付けます。

発表 10月中旬に熊日紙上で発表。
表彰 グランプリ1点（3万円相当旅行券）
金賞4点（2万円相当旅行券）
銀賞8点（1万円相当図書券）
銅賞12点（5千円相当図書券）
入選50点（2千円相当図書券） 学校賞 若干校

表彰式 11月中旬
▽入賞・入選作品…鶴屋百貨店 11月中旬

展覧会 ▽入賞作品…くまもと森都心プラザ 平成29年1月上旬

（いずれも予定）

※応募者には熊本日日新聞社や関連グループから連絡をすることがあります。あらかじめご了承ください。

主催 熊本日日新聞社 協賛 (株)ダイケン

後援 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 熊本市町村教育委員会連絡協議会
熊本県PTA連合会 熊本市PTA協議会 NIEネットワーク熊本



2016熊日「新聞コンクール」親子新聞の部 出品票 () 部門

ふりがな		住所	〒 □□□□-□□□□	電話	()
氏名					-
学校名	小学校 中学校	学年	年	ふりがな	
				保護者名	

✂ - キリトリ -

お金は蓄えるより使うべし!!

～話題のプレミアム商品券のナゾにせまる～

プレミアムギフト GETの巻
～話題～ 作: 桃子

氷川町プレミアム商品券を買ったよ

お店にて...
950円になります

商品券を使うとおつりが出ないし、好きなおかしを買っていいよ!

わーい

お買上げありがとうございます

これに決めた! 高級食品

氷川町の おすすめ スポット **立神峡**

長さ56メートル、水面からの高さ8メートル。わたる時にギシギシ音が鳴り、スリル満点! 大岩壁も見ごたえあり!

私たちが、お金をたくさん使った地域や国が元気になるというこが分かった。

だから、私の住む氷川町だけでも、2300万円がおまけとして国から支援されていて、その額は税金である。私はプレミアムは無くして消費税が上がるのだから、いいと思った。

これから身近なことに目を向けて考えていきたいと思う。

「明日はプレミアム商品券の発売だから、明日に行かなければいけない。お母さんがはりにていた。ニマスや新聞でも話題になっていて、このプレミアム商品券と一体何が調べるのだから、私は調べた。

桃子、プレミアム商品券とは? 前村さん、地域でお金を使ってもらうために、国が支援するもので、プレミアムはおまけを付けて、買いたい物ができるのは、商工会員さんの店だけで、期間もあるから、短い期間で地域の消費拡大が見込まれるのです。

桃子、地域によっておまけの率がちがうけれど、なぜ氷川町では20%のおまけにしたのですか? 前村さん、先に販売する額を決めていまして、10%だとお母さんが少ないから、30%だとお母さんが買えない人も出てくるから、20%にしました。

桃子、たくさんのお金を使いました。前村さん、全世帯の1/5の人が買っているから、良い結果だと思います。

桃子、町の人の反応はどうですか? 前村さん、おまけが付いているので、喜んで買おうと、またおまけの分を余分

桃子、これからは地域が活性化するために、いろいろな事を考えよう。前村さん、おまけの率が高くなると、商工会員さんの店が潤って、経営者の高齢化など課題はありますが、推進会で地域で買ってもらえるような工夫をしています。

話を聞いて、地域で買物をするのは、地域が活性化につながるのだから、おかしや文房具など、町内で買おうと。

発行: 宮原小5年 堀川桃子

販売初日は1時間前が別ができたという

桃子、お店の人の反応はどうですか? 前村さん、可憐な買物をして、人が買ってくれたように嬉しそうに話してくれました。おまけの率が高くなると、商工会員さんの店が潤って、経営者の高齢化など課題はありますが、推進会で地域で買ってもらえるような工夫をしています。

桃子、これからは地域が活性化するために、いろいろな事を考えよう。前村さん、おまけの率が高くなると、商工会員さんの店が潤って、経営者の高齢化など課題はありますが、推進会で地域で買ってもらえるような工夫をしています。

まちの声、30人アンケート

Q: 氷川町のプレミアム商品券を買いましたか?

★買った 18人

★買ってない 12人

理由? 買ったからには、買ったから、時間が必要だった 5人

・利用する店まで買物しにくい 4人

・発売を知らなかった 3人

何に利用した? (1人3つまで)

1位 食料品 15点

2位 日用品 10点

3位 外食 5点

※その他、リファに全て使ったという人もいます

昨年 グランプリ 作品 2015

昨年グランプリ 堀川桃子さん (氷川町立宮原小5年・当時)

新聞づくりは、身近な課題を発見し、文章や図表・写真などによる表現活動を通して他者とのコミュニケーションを図り、またその能力を高めていくという「生きる力」につながる実践活動です。2016熊日「新聞コンクール」親子新聞の部は夏休み期間に、子どもたちが家族と協力し合い、表現する力を養っていくことを目的としています。